

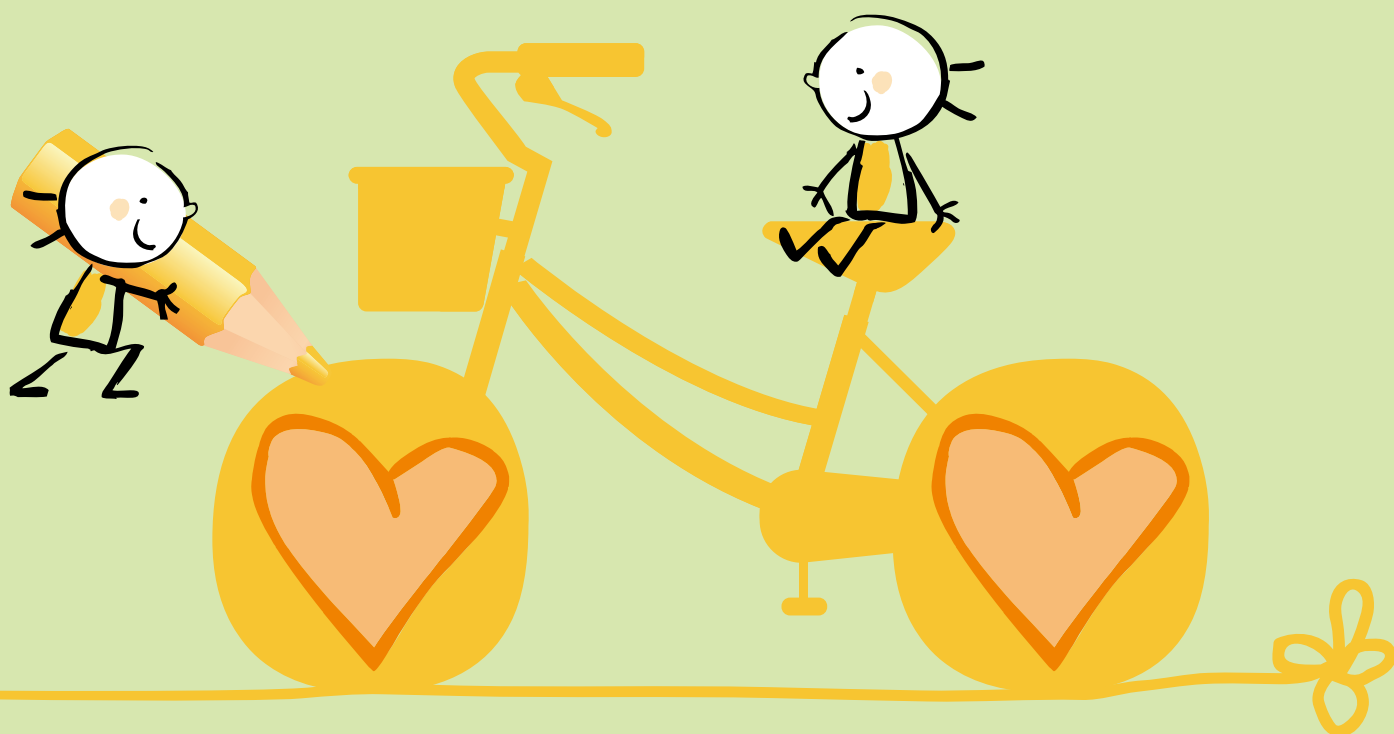
5月は  
自転車月間

5月5日は自転車の日

平成22年度  
自転車月間



# 平成22年度 自転車月間「自転車の日」記念行事 事業報告書



小・中学生絵画・作文コンクール

サイクルドリームフェスタ2010

主催：自転車月間推進協議会/朝日新聞社

事務局：(財)日本自転車普及協会

後援：内閣府/警察庁/総務省/文部科学省/経済産業省/国土交通省/環境省/東京都/財団法人JKA

**KEIRIN**



この事業は、競輪の補助金を受けて  
実施したものです。

<http://ringring-keirin.jp>

# 小・中学生絵画・作文コンクール - 実施要項 -

## 実施概要

**目的** 「自転車月間」は、昭和56年5月に「自転車の安全利用の促進及び自転車駐車場の整備に関する法律」が施行されたことを記念して制定され、自転車の交通安全教育や乗車マナーの向上と、自転車を通じての国民体育の向上を図ることを目的に毎年5月の月間中に、各種の行事を実施しているが、若年層における「自転車月間」の趣旨の浸透と、参加意識の高揚を図るため、小・中学生を対象に自転車をテーマとした絵画・作文の作品を公募する。

**名称** 平成22年度 自転車月間「小・中学生絵画・作文コンクール」

**主催** 自転車月間推進協議会／朝日新聞社

**後援** 内閣府／警察庁／総務省／文部科学省／経済産業省／国土交通省／環境省／東京都／財団法人JKA

**募集対象** 平成21年度 小・中学校在籍生、特別支援学校同年齢者

**募集テーマ** 「自転車」（自転車の思い出、自転車とマナー、自転車とエコ、自転車だからできること、自転車でこんな道を走りたい、自転車でこまったこと、私と家族と自転車と、など自由に）

**募集期間** 平成21年12月から平成22年3月31日（水）【当日消印有効】

**募集内容** 絵画部門：B判四つ切サイズ（380mm×540mm）画材は自由、ポスター形式（絵画と文字）も可  
作文部門：400字詰め原稿用紙3枚以内。作文部門のみメールでも可

## 審査・選考方法

主催者及び学識経験者から成る選考委員会を設置し、平成22年4月19日（月）に選考委員会を開催の上、別項の審査基準に基づき、審査・選考する。なお、選考委員会の構成については、別項の通りとする。

## 賞の種類・賞品（小・中学生、絵画・作文部門とも共通）

金賞・・・各部門1名 賞状、マウンテンバイク、図書カード 銀賞・・・各部門1名 賞状、図書カード  
銅賞・・・各部門1名 賞状、図書カード 佳作・・・各部門10名 賞状、図書カード

## 入賞者の発表

平成22年5月1日（土）付朝日新聞全国版の新聞紙上において発表した。  
また、サイクルドリームフェスタ2010の会場である科学技術館【5月4日（火・祝）～5月5日（水・祝）】・朝日新聞東京本社2Fコンコース【5月8日（土）～5月20日（木）】・東京都庁45階南展望室【5月24日（月）～5月30日（日）】において金賞、銀賞、銅賞入賞者及び佳作作品の展示を行った。

5月は自転車月間 5月5日は自転車の日  
平成22年度自転車月間 作品募集  
小・中学生 絵画・作文コンクール

テーマ 自転車  
誰だかさんの人が自転車に乗っています。あなたやあなたのご家族、あなた、ご近所の人、仕事や勉強や買物や遊びに行くとき、自転車は大丈夫、人と自転車の関係を探りたい感じして、絵や作文にしましょう。

例えば...  
自転車の思い出  
自転車とマナー  
自転車だからできること  
自転車でこんな道を走りたい  
自転車とエコ  
私と家族と自転車と  
自転車でこまったこと  
自転車とエコ

賞品  
金賞・・・各部門1名 賞状、マウンテンバイク、図書カード  
銅賞・・・各部門1名 賞状、図書カード

募集期間  
平成21年12月1日～平成22年3月31日（水）

募集場所  
〒160-0022 新宿区新宿1-30-11 ビルプランタン4階 株式会社マザーベース内「小・中学生 絵画・作文コンクール」事務局

お問い合わせ  
TEL:03-3354-5090 受付時間 月～土 10:00～17:00  
※土日祝祭日（10月10日～11月10日）は受付停止となります。

この事業は、競輪の補助金を受けて実施するものです。

5月は自転車月間 5月5日は自転車の日  
平成22年度自転車月間 作品募集  
小・中学生 絵画・作文コンクール

毎日たくさんの方が自転車に乗っています。あなたやあなたのご家族、あなた、ご近所の人、仕事や勉強や買物や遊びに行くとき、自転車は大丈夫、人と自転車の関係を探りたい感じして、絵や作文にしましょう。

例えば...  
自転車の思い出  
自転車とマナー  
自転車だからできること  
自転車でこんな道を走りたい  
自転車とエコ  
私と家族と自転車と  
自転車でこまったこと  
自転車とエコ

賞品  
金賞・・・各部門1名 賞状、マウンテンバイク、図書カード  
銅賞・・・各部門1名 賞状、図書カード

募集期間  
平成21年12月1日～平成22年3月31日（水）

募集場所  
〒160-0022 新宿区新宿1-30-11 ビルプランタン4階 株式会社マザーベース内「小・中学生 絵画・作文コンクール」事務局

お問い合わせ  
TEL:03-3354-5090 受付時間 月～土 10:00～17:00  
※土日祝祭日（10月10日～11月10日）は受付停止となります。

この事業は、競輪の補助金を受けて実施するものです。

作品募集チラシ表面：(A4)

5月は自転車月間 5月5日は自転車の日  
平成22年度自転車月間 作品募集  
小・中学生 絵画・作文コンクール

毎日たくさんの方が自転車に乗っています。あなたやあなたのご家族、あなた、ご近所の人、仕事や勉強や買物や遊びに行くとき、自転車は大丈夫、人と自転車の関係を探りたい感じして、絵や作文にしましょう。

例えば...  
自転車の思い出  
自転車とマナー  
自転車だからできること  
自転車でこんな道を走りたい  
自転車とエコ  
私と家族と自転車と  
自転車でこまったこと  
自転車とエコ

賞品  
金賞・・・各部門1名 賞状、マウンテンバイク、図書カード  
銅賞・・・各部門1名 賞状、図書カード

募集期間  
平成21年12月1日～平成22年3月31日（水）

募集場所  
〒160-0022 新宿区新宿1-30-11 ビルプランタン4階 株式会社マザーベース内「小・中学生 絵画・作文コンクール」事務局

お問い合わせ  
TEL:03-3354-5090 受付時間 月～土 10:00～17:00  
※土日祝祭日（10月10日～11月10日）は受付停止となります。

この事業は、競輪の補助金を受けて実施するものです。

作品募集チラシ裏面：(A4)

作品募集ポスター：(B2)



# 広報展開

5月1日付  
朝日新聞  
全国版掲載



## 5月は自転車月間

企画制作  
朝日新聞社広告部

### 平成22年度 「小・中学生 絵画・作文コンクール」

全国自転車推進協議会（以下「協議会」）は、自転車月間（5月）をテーマとした絵画・作文を公募。本年度は絵画・作文合わせて、1,308点の応募がありました。

**絵画（小学生）**  
（主催）文部科学省 グループ・小学校3年生  
（主催）三宅忠信 群馬県立第一小学校4年生  
（主催）山田進一 石井町立第三小学校2年生  
（主催）山田進一 山田進一 山田進一  
村上実希 子子実希 水谷静海 山上廣  
山口信雄 池野信吾

**絵画（中学生）**  
（主催）虎井雄 横浜国立大学第一中学校2年生  
（主催）中津真由 高松市立電子中学校2年生  
（主催）北野良一 小樽市立中学校2年生  
（主催）尾花健二 豊後高田市立中学校2年生  
（主催）尾花健二 尾花健二 尾花健二  
尾花健二 尾花健二 尾花健二  
尾花健二 尾花健二 尾花健二

**作文（小学生）**  
（主催）尾花健二 群馬県立第一小学校3年生  
（主催）八田雄人 群馬県立第一小学校5年生  
（主催）尾花健二 小樽市立中学校2年生  
（主催）尾花健二 尾花健二 尾花健二  
尾花健二 尾花健二 尾花健二  
尾花健二 尾花健二 尾花健二

**作文（中学生）**  
（主催）尾花健二 文部科学省グループ1年生  
（主催）尾花健二 文部科学省グループ1年生  
（主催）尾花健二 文部科学省グループ1年生  
（主催）尾花健二 文部科学省グループ1年生  
（主催）尾花健二 文部科学省グループ1年生  
（主催）尾花健二 文部科学省グループ1年生

### 便利で楽しく、健康かつ経済的 私は「1日3食＋自転車」生活

「新しい生活様式」が求められる中、自転車は健康維持や経済的負担軽減にも役立つ。吉澤ひとみさんが語る、自転車生活の魅力を語る。

「新しい生活様式」が求められる中、自転車は健康維持や経済的負担軽減にも役立つ。吉澤ひとみさんが語る、自転車生活の魅力を語る。



吉澤ひとみさん  
※お名前・年齢・性別はご本人の希望により掲載する場合がございます。また、掲載する内容は、ご本人の希望により掲載する場合がございます。

**自転車基本法とは**  
1997年5月に施行された「自転車の安全利用の促進及び自転車乗車等の取締に関する法律」が施行されたことにより、自転車の安全利用の促進及び自転車乗車等の取締に関する法律として制定されました。

- ① 自転車は右側通行
- ② 歩道は左側通行
- ③ 歩道は歩行者優先
- ④ 安全ルールを守る
- ⑤ 交通ルールを厳守
- ⑥ 安全運転の確保
- ⑦ 安全運転の確保
- ⑧ 安全運転の確保

### 「サイクルドリームフェスタ 2010」 ～楽しく乗ろう、美しく乗ろう～

主催：日本自転車普及協会、朝日新聞社、各都道府県自転車協会、各地方自治体

### バイコロジー統一キャンペーン

各都道府県自転車協会、各地方自治体、各民間団体の連携により、自転車の安全利用の促進を図ります。

### UCI公認世界自転車ロードレース 14th TOUR OF JAPAN

サイクルドリームフェスタ2010と連動したロードレースイベント。

自転車月間推進協議会 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 事務局（財）日本自転車普及協会 後援：内閣府 | 警察庁 | 総務省 | 文部科学省 | 経済産業省 | 国土交通省 | 環境省 | 東京都 | 財団法人JKA

朝日新聞社告

「5月の自転車月間」を記念し、小学生・中学生を対象とした「絵画・作文コンクール」を実施します。

日本教育新聞

「5月5日は自転車の日」を記念し、小学生・中学生を対象とした「絵画・作文コンクール」を実施します。

交通安全教育

平成22年度「自転車月間」小・中学生 絵画・作文コンクール作品募集！！

2010年1月15日付  
（作品募集）

2009年12月21日付（作品募集）

2010年3月号（作品募集）

サイクルスタイルにてイベント告知を実施

CycleStyle.net PICK UP 特集

サイクルドリームフェスタ2010

サイクルドリームフェスタ告知 B1ポスター & A4チラシ



東西線 九段下駅  
東西線 竹橋駅  
有楽町線 飯田橋駅

その他・公募ガイド3月号・1月25日付 日本教育新聞へ作品募集を掲載しました。



# 小・中学生 絵画・作文コンクール — 表彰式 —

## 入賞者の表彰

各部門の金賞、銀賞、銅賞入賞者については、「自転車の日」である5月5日(水・祝) 13:00～13:30に、サイクルドリームフェスタ2010会場において、表彰式を行なった。



金賞・銀賞・銅賞受賞者



蓮見 委員長(筑波大学 人間総合科学研究科教授)  
「自転車を大切にする気持ち、事故の危険性やマナー、エコの意識向上を訴える作品など、高い社会性を感じることができました。」などの総評をいただきました。



「作文部門 小学生の部 金賞」  
金賞受賞の喜びを笑顔で話す、川尻和奏さん



「絵画部門 小学生の部」阿部毅一郎 自転車月間推進協議会 会長代行より賞状授与



「作文部門 小学生の部」森聡 朝日新聞 東京本社 スポーツ事業部 部長より賞状授与



「作文部門 中学生の部」大野幸裕 朝日新聞 東京本社 広告局業務推進部 次長より賞状授与



# 小・中学生 絵画・作文コンクール — 審査・展示 —

## 〔審査・選考〕

「平成22年度 自転車月間小・中学生絵画・作文コンクール」では、「自転車」をテーマに全国の小・中学生から、応募総数1,398点の作品が応募された。

作品の選考に当たっては、絵画部門においては、①主張、趣旨②表現力、完成度を審査基準とし、作文の部においては、①主張、趣旨②文章構成③表現力を主たる審査基準とした。その基準に基づき審査選考し、平成22年4月19日(月)に選考委員会による最終選考を行い、金賞、銀賞、銅賞、佳作の52作品を決定した。

## 選考委員会委員（敬称略）

	委員名	団体名	役職
委員長	蓮見 孝	筑波大学 人間総合科学研究科	教授
委員	玉城 一夫	社団法人 全国交通安全母の会連合会	専務理事
委員	塩田 透	財団法人 全日本交通安全協会	常務理事
委員	浅野 祥三	財団法人 日本レクリエーション協会	常務理事
委員	長澤 恵一	財団法人 日本サイクリング協会	事務局長
委員	谷口 俊二	朝日新聞東京本社 スポーツ事業部	次長
委員	大野 幸裕	朝日新聞東京本社 広告局業務推進部	次長
委員	渋谷 良二	財団法人 日本自転車普及協会	常務理事



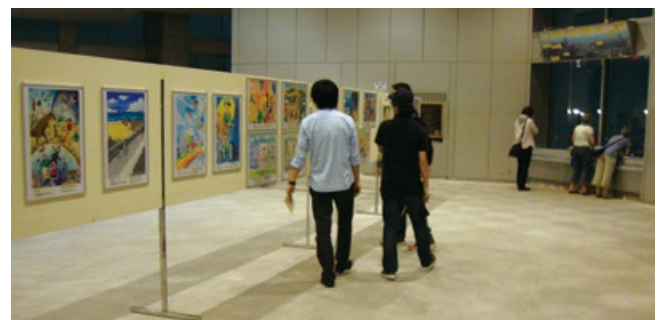
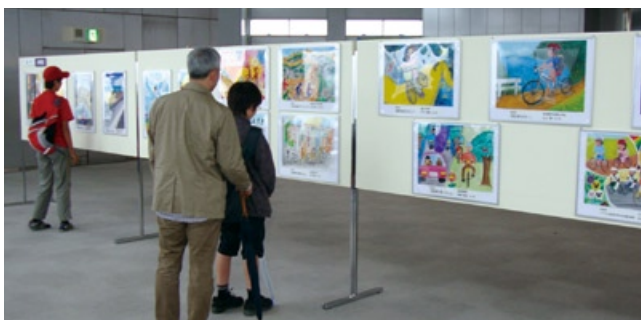
## 〔展示〕 入賞及び佳作52作品を展示



サイクルドリームフェスタ2010 5月4日(火・祝)～5月5日(水・祝) 「小・中学生絵画作文コンクール」入賞作品展示コーナー



5月8日(土)～5月20日(木) 朝日新聞東京本社2Fコンコース



5月24日(月)～5月30日(日)

東京都庁45階南展望室展示／一日平均約1700人の方が展望室を訪れ、展示された作品を熱心にご覧になっていました。

# 小・中学生 絵画・作文コンクール

## － 入賞作品 － 小学生・絵画部門



久々津 和慧 さん  
グループ絵夢 3年

「ぼくらの自転車は夢をのせて空を駆けぬるー！」



三宅 佑佳 さん  
美術教室エル 4年

「パンクをなおす相川さん」



武市 隼 さん  
石井町立浦庄小学校 2年

「のれたよ！みんな」



### 佳作

名前	学校名/団体名	学年	タイトル
石田 隼椰	枇杷島画塾	1	自転車で宇宙旅行
安藤 愛華	秋田市立日新小学校	1	大すきなじてんしゃでうみを見にいったよ
赤木 紫音	川崎市立東大島小学校	3	春夏秋冬を走る
深川 紗良	恵庭市立恵庭小学校	4	自転車の練習
井上 実香	ともだち絵の会	4	ワァー！乗れたよー

名前	学校名/団体名	学年	タイトル
芥子 萌樹	墨江小学校	5	銀河を走りたい！
水谷 玲那	大口町立大口北小学校	5	いつでも自転車元気な体笑顔の地球
山上 潤	名古屋市立牧野小学校	5	海を見つけた！
井川 典郁	ともだち絵の会	5	迷惑駐輪はやめよう
海野 詞音	枇杷島画塾	6	自転車に乗ってエコ



# 小・中学生 絵画・作文コンクール

## －入賞作品－ 中学生・絵画部門



荒井 瞳 さん  
横浜市立港南台第一中学校 2年

「春、桜と私と自転車。」



中東 真由 さん  
名古屋市立豊正中学校 2年

「沖縄でのレンタサイクリング」



岡本 麻衣 さん  
横浜市立汲沢中学校 2年

「自転車って気持ちいいよね」



### 佳作

名前	学校名/団体名	学年	タイトル
旭 健児	瀬戸市立水野中学校	1	自転車で古代へ
蟹江 祐加	名古屋市立八幡中学校	1	危険を照らそう!
松尾 綾	福岡市立次郎丸中学校	1	はじめての自転車
池 英里加	新潟市立小針中学校	2	自転車で行った海
大倉 恵理子	名古屋市立豊正中学校	2	にじのサイクリングロード

名前	学校名/団体名	学年	タイトル
梶 尚季	淑徳巣鴨中学校	2	走り方は人柄です。
森田 絢美	ともだち絵の会	2	子供はヘルメットを着用
石出 知	千葉大学教育学部附属中学校	2	早春さいくりんぐ
林 涼香	美術教室エル	3	自転車を修理する人
大村 健人	京都市立下京中学校	2	万里の長城でサイクリング

# 小・中学生 絵画・作文コンクール — 入賞作品 — 小学生・作文部門



## 金 ゆびきりげんまん

鈴鹿市立長太小学校三年 川尻 和奏

私のおじいちゃんの足は、いたいもかゆいもあついてもわかりません。私が生まれる前に交通事故にあつて、せきずいそんしょうという病気になりました。だから、私は、おじいちゃんが立ったり、歩いたりしているのを度も見ることがありません。もちろん自転車に乗っているのを見たこともありません。

おじいちゃんは、元気なころ、のりのようしくをしていました。毎朝まだ真つ暗なころ、船がとめてある港まで自転車で乗って行ったそうです。とてもめたい風とおしくらまんじゅうしながら自転車のペダルをがんばってこいでいました。すると、体じゅうがぼつかかかになって、手や足にも力がつた気分になったそうです。のりをうみに行く前のじゅんび体そうだったとおじいちゃんは、なつかしそうに言います。おいしいのりをいっぱい作るために、海のていほうを自転車をはしらせて、海の色やりのあみの様子をながめていたそうです。「ていほうを自転車ではしっていると、海のしおのかおりがしてとても幸せな気分になったなあ。もう一回のりをうみに行くのに自転車を港まではしらせたいな。おじいちゃんも自転車に上手に乗ろうとたんやぞー」とちよつとさみしそうに言いました。「おじいちゃんおわたら、また自転車に乗りたいたい。」と聞いたら「せやなあ、おじいちゃんも自転車に乗ったことも一回だけいいから乗れるもんなら乗りたいたいなあ。」

「うん、おじいちゃんおわたら私と港まで自転車きょうそうしよな。」  
「おじいちゃんのされた首のしんけいがつながつたら、ええとをけとなあ。」  
私とおじいちゃんは、また自転車で乗ろうとゆびきりげんまんしました。それから私は、まだ二度も見なかった新しい自転車に乗ったおじいちゃんを想ぞうしました。元氣にペダルをこいでいるおじいちゃん。びゅんびゅん自転車をとほすおじいちゃん。かっこよく楽しそうに自転車を乗るおじいちゃん。前に聞いたことがあつた雪道で自転車で転んだおじいちゃん。いろんなおじいちゃんが私の頭の中に出てきます。そしたらおじいちゃんに言われました。「自転車に乗る時は、じゅうぶんに車に気をつけやなあかんで。おじいちゃんのとやくそくやで。」もう一回ゆびきりげんまんしました。おじいちゃんのとゆびきりげんまんを私を守るからおじいちゃんもなおるようにがんばってね。やくそくね。



## 銀 祖母の忘れ物

鈴鹿市立若松小学校六年 六田 億人

「どこへ忘れてきたんやろねえ。」首をかきあげ、考えこむ祖母。最近、こんな祖母の姿を何度も見ている。家の鍵、保険証、財布、通帳……。色んな物をどこかに置き忘れては周りのぼくたちをビックリさせている。今回はなんと、朝出かける時にのついた祖母愛用の自転車だ！数年前から軽い認知症の祖母は自動車の運転をやめ、近くに出かける時は、もっぱら自転車を使い「健康的にいねえ。自転車は気持ちいいわ。」と楽しんでいるようだった。だからこそ今回の落ちこみようは過去最大級のものだ。「私のおつむは、どんな物忘れがひどくなっているねえ。みんなに迷惑かけて情けないわ。」と。

ぼくは「自転車をどこに置いてきたか、ゆつくり考えてみたええやん」と声をかけた。「なくなった自転車は私が嫁入りの時、母が買ってくれた大切なものなのに、申し訳ないわ。」と投げいている。50年以上も前のことを話している祖母を見ていて胸がしめつづける思いがした。

「すてきななあ。おばあちゃん物はちがいのなあ。」とお姉ちゃんが話を合わせてはもめた。「そうやろ！初めて自転車を買ってもらったのは、ちよつと私が三年生の時なんさ。物があまりない時代に高価な自転車を買ってもらって、どんなにうれしかったか。葉の花がいっぱいさいている手をビュンビュン風を切つて自転車のつたら、川へついでいたことがある。おばあちゃんドジャろ。ハッハハ。」と落ちこんでいた祖母が笑った。ぼくたちも「うんうん。それからどうしたん？」と聞き返すと、「家へ急いで帰つて、きれいに布でふいたわさ。自転車にのつとると、空を飛ぶのみたいやつたし、色んな景色を独り占めできた気分やつたよ。ペダルを元氣にこくと、足が丈夫になったし、自転車に乗るようになってから、一つもかぜひかんだところがうやろか。自転車の思い出を話す祖母の顔はにこやかだ。目はキラキラしてた。祖母の自転車はいまだどこかに置き忘れられたままだ。でも祖母の自転車の思い出はどこにも置き忘れてきてほしくないと思う。万が忘れそうになつても聞いてたばくたちが祖母の自転車の思い出をしっかり覚えておいてあげたい。自転車で元氣をもらい、楽しみしてもらい、物を大切にすることを学んだ祖母。」

そして、自転車についての頃のことを、うれしそうに話す祖母。いつまでも元氣でいてほしいと思う。



## 銅 ぼくの自転車とじろ

私立小野学園小学校二年 遠藤 一

じろは、ぼくが公園でよく会う犬だ。ぼくの自転車が大好きで、よく後をおいけてきた。そして、自転車の後輪のどろよけをがじろがかんたりした。茶色で、少し大きい十才の犬だけと、ほえないだ。ぼくは、最初は、じろがいやだった。「かみつかるかもしれない。」

と思ついたので、わざとかくれたりしてた。自転車をこわされたくなかつたからだ。でも、じろが急に公園に来なくなつた。おじいさんもさんな歩に来なくなつた。「じろが死んだよ。しのださんの所のじろが死んじゃつたんだよ。」

「お母さんが教えてくれた。」  
「えー。どうして死んじゃつたの？」  
と、ぼくはびっくりした。泣きたくなつたけれど、じつとがまんした。「おじいさん、どうしているのかなあ」と、妹は、しくしく泣いていた。「だから、公園に、おじいさんも来なくなつたんだよ。」

ぼくは自転車の練習をしに、幼稚園の時から、その公園に行つてた。そうすると、夕方頃、おじいさんとじろがさんぽに来ていた。14インチの妹より小さい自転車なので、お母さんだ。「新しい自転車を買つてよ。乗りづらいつから新しいのにして。」  
と、お願いしていた所だった。「じろが死んじゃつた。」  
「ぼくの自転車も死んじゃつた。」  
ぼくは、そう思つた。じろは、死なせしまつたら、顔を見る事も出さない。今、あるのは、じろが、がじろがした歯のあとだけだ。自転車で、じろがかけた、丸とたて長の線のきずが残つていただけだ。

ぼくは、新品の自転車もほしくなくなつたし、自転車にも乗りたくなつた。あんなに、じろをきらつてしまつて、悪い事しちゃつたあと後かしてしまつた。フランダースの犬のパトラッシュにじろは、そっくりだ。天国に行つたのも、パトラッシュと同じだ。  
ぼくは、じろは、「今度、じろが生まれ変わつて、又、ぼくの前に来たら、三輪のなつた自転車のかごに乗せてあげるね。」と、言つてあげたくなつた。  
じろは、がじろが自転車をかむかもしれない。だけれど今度ば、好きなだけ、思いきりかんでもいいやと思つた。そして公園の林の中を、春も夏も秋も冬も、ずつとじてる自転車のなごに入れて、走つてあげようと思つた。そう思うと悲しくないのに、なみだが出てきた。じろが死んだ時は泣かなかつたのにとてもふしぎに思つた。

## 佳作

名前	学校名/団体名	学年	タイトル	名前	学校名/団体名	学年	タイトル
江川 慎	渕沢第一小学校	6	小学校最後の夏休み	野田 陽生	智辯学園和歌山小学校	4	ぼくらの自転車
山本 レイ	長居小学校	1	じてん車にのれた	斉藤 春香	秦野市立大根小学校	5	あきらめずにがんばりたいな
田島 陽奈	尼崎市立塚口小学校	2	自てん車っていいね	斉藤 匠	秦野市立大根小学校	1	かそくと自てん車とぼくのゆめ
臼井 穂乃	乾隆小学校	4	気をつけよう!	筒井 浩太	仙台市立南光台小学校	4	ぼくの自転車の思い出
小林 あい	光塩女子学院初等科	4	自転車にありがとう	光本 おとは	名古屋市立浦里小学校	3	自転車とエコ



# 小・中学生 絵画・作文コンクール

## — 入賞作品 — 中学生・作文部門

金

### 旅する自転車

交野市立第三中学校 二年 埜辺綾香

ある日お友達の家遊びに行った時、車庫にどこか見たような古びた自転車を発見した。16インチの小さな自転車は車庫の端っこで寂しそうに隠れていた。赤かった自転車のかごは日に焼けてすっかり薄ぼろに色が変わっていた。でもつぶれる事もなく、かごの底の方は確かに昔赤かったことを物語るように絵の具をこぼしたように赤い色が残っていた。

左のハンドルのグリップエンドが大きく破れてテープで補強してある。「やっぱり！これ私が幼稚園の時乗っていた自転車」思わず大きな声で叫んだ。近くの川原で転んだ時にきた左のハンドルの傷。擦りむいた膝の痛みより、自転車が傷ついたことの方が辛かったことを思い出した。この傷があるから間違いなく私の自転車。

お友達にこの自転車の話をすると、番下の妹の自転車で幼稚園のお友達のお姉さんが乗っていたのをもらったそう。長い時間をかけて、色々な人を伝わってここにたどり着いた自転車。どんな人に出会って、どんな楽しいことを見られたのだろう。私みたいに転んで泣いた人もたくさん見たのだろうか。

家に帰ってからお母さんに話すと私の次に乗ってくれた人に連絡してくれた。自転車が通った長い時間の道のりを今電話で追っかけている。安奈ちゃんから優奈ちゃんへ、そして美香ちゃんへとつながっていく。九年間で五人と出会い、転んだ思い出や初めて駒を外して乗れた思い出などを見てきた自転車は、六人目になるお友達の家にやってきました。

一台の自転車がみんなに可愛がられ、乗り続けられていくことがうれし。小さい頃は直ぐに身長が伸びて、自転車が小さくなるのでまたまた使える自転車でも大きいものに乗り換えよう。こうして使えるものは使う、これがエゴの原点のような気がした。また少しすると、ここからも旅立ち新しいお家に届けられることでしょう。今度会えるときはどこで、いつ、誰が乗っているのだろうか。また逢おうね私の自転車。

銀

### 自転車つてスゴイ！

立命館宇治中学校 二年 河之口みな

私は、この世に誕生する前から自転車に乗っている。もちろん、そんなことを自分で覚えているわけではないが、母が私の歴史を語るときには必ず出てくる話だ。母はせっかちな性格なので、渋滞にはまるような乗り物は極力乗りたがらない。多少遠いところでも裏道を見つかり、すいすい自転車で行ってしまおう。それは私がお腹にいたときも同じだった。家族がどんなに注意しても「大丈夫」の言いで、毎日自転車で乗り続けた。そして、出産予定日を翌日に控えた日も、母は自転車で買い物に出かけた。たぐさんの袋を自転車のかごに乗せ帰宅する途中、軽い腹痛を感じ、病院に電話を入れた。のんびりかまえていた母は、看護師さんに「すぐにきなさい」と言われ、すっかり気が動転してしまっ。角を曲がればすぐ家なのに、母は自転車を走らせて病院まで行ってしまった。そして、そのまま入院することになり、二時間後に私は私が誕生していた。母を運んだ自転車もまた、病院の前で待つことになってしまった。産婦人科に行くのに自転車を使う人は少ないと思うが、ましてや自転車で乗りつけ、出産する人ももっと珍しいだろう。止めたままの自転車はすぐ目立ち、母はいつ看護師さんに怒られるかとドキドキハラハラの七日間を過ごしたそう。家族はというと、私が誕生したことで皆頭がいっぱいで、母がどうやって病院にたどり着いたかなど、誰も疑問に思わなかったらしい。私はそんなエピソードの中で生まれ、母の愛車と共に帰宅をした。それから三ヶ月、母は子供を乗せられる自転車を買い、仕事に復帰した。どんな天候でも母は私を自転車で乗せ、保育園まで送り届け自分も仕事に向った。

こうして成長した私は五歳のとき、自分で乗れるようになる為に新しい自転車を買った。何度か転び、泣きながら練習をした。「自転車なんか乗れなくていい」とすねて自転車を壊したこともあった。グラグラゆれるハンドル、フラフラのペダル、「あーまた転ぶ」とあきらめたその瞬間、すーっと滑りだすのを全身で感じた。今まで度も味わったことのない感覚だ。風がちがう！景色がちがう！自転車つてスゴイ！私はうれしくて、うれしくて、川沿いの道を走り続けた。母が遠くで「気を付けなさいよ」と言っているのがかすかに聞こえた。

銅

### 自転車の思い出〜風と人を感じて〜

大分大学教育福祉学部附属中学校 二年 三重野瑠乃

私が人より少し早く出来た事と誇れる最初の事。それは、補助輪のない、いわゆる自転車に乗れた事。この時ばかりはいつも協力的でない父も、とても協力的で練習をしっかりと公園へ行った。それが嬉しくて不器用な私にしては、すぐに乗れるようになった。

それ以来、自転車は私の交通手段となった。中学生になり通学方法を決める時、私はすぐに自転車で通学に決めた。バスなどの公共機関を使つての時間の短さなどの便利さより、今までの自転車での楽しい思い出が私をワクワクさせたからだ。

実際、通学を始める時、それは思っていた以上だった。まず私は、空を度見上げてからゆくりと漕ぎ出す。段々加速しだすとさき見た空を頭に浮かべ、「今日は、この天気が続くのかと考えたり、周りの景色や風の感じから季節の変化を感じたり、「いつてらっしゃい」と声をかけてくれる近所の人に、「行ってきます」と元気に答え、先へ先へと進む。こうして私の二日が楽しく始まる。

時には、暑い日、寒い日、風が強くて前に進まない日もあって、大変と思う事もあるが目的地に着いた時の爽快な気分、道のりをたたく目的のために進むだけではない楽しさが自転車にはあって、私は好きだ。

季節を感じ、人を感じ、私の自転車生活はある。そして、沢山の思い出もある。

通りなれた道を進みながら、時々なつかしく思い出出す。また母の自転車に乗っていた頃、坂道になると、登りきろうとする母を応援した事。真夏の照りつける太陽の下、沢山の荷物を乗せ汗をかきながら通ったおけい古事。友達と漕ぎながら話したあの話。沢山の思い出の隣りに自転車がある。

最近、仕事のために母が車を買って、母と並んで自転車で乗る事はなくなり、雨の日など私も利用する事が増えた。楽になり、時間もかからなくなりましたが私は少し寂しく思う。

暑さや寒さ、少しかかる時間より、自転車で道のりが、私の心に、温かく楽しい思い出を残してくれたからだと思います。

今日も自転車を漕ぎ、何度も走った思い出の道を進む。最近、気づいたのが、私は小さい頃からの自転車生活で自然に交通ルールが身についていた。事故も継続中。そして、もう一つ、自転車は、地球にやさしい乗り物。私もエゴに貢献している。

今日は、コートも手袋も要らない。風が暖かくなったと感じる。春が来、川沿いの桜が咲き誇るのはいつだろう。そんな事を思いながら、今日も楽しく自転車で進む私だ。

### 佳作

名前	学校名/団体名	学年	タイトル
三浦 舞	八千代松陰中学校	1	自転車置き場のおじさん
蓮沼 日出夫	ときがわ町立玉川中学校	3	兄と自転車
羽佐田 ゆう	江東区立深川第四中学校	2	ケントくんと僕
友納 瑠花	さいたま市立大原中学校	1	自転車マナーしっかり
諸鍛治 麗	愛知淑徳中学校	1	人の温かさ

名前	学校名/団体名	学年	タイトル
長妻 和美	江東区立深川第四中学校	2	パートナー
末永 琢磨	東村山市立東村山第二中学校	3	自転車で出会った たまご
宍倉 有紀	八千代松陰中学校	1	自転車が教えてくれた事
佐藤 杏果	江東区立深川第四中学校	2	自転車と友達
原澤 里紗子	江東区立深川第四中学校	2	初めての自転車

# サイクルドリームフェスタ2010

## － 実施報告 －

子供の日である5月5日は「自転車の日」ということで、自転車月間幕明けのイベントである「サイクルドリームフェスタ2010」を科学技術館1F特設会場にて行い、晴天に恵まれたこともあり、多くの子ども連れのご家族に、ご来場いただきました。また、科学技術館2Fには、自転車文化センターがあり、ご来場いただいた多くの方に足を運んでいただき、より自転車について学べる良い機会となりました。詳細は以下のとおりご報告いたします。

**開催概要** 総来場者数：2,236名 【内訳】 5月4日：1,312名  
5月5日：924名

**タイトル** 平成22年度 自転車月間「自転車の日」記念行事 サイクルドリームフェスタ2010

**目的** 「自転車月間」「自転車の日」を機に、自転車に関する各種行事を実施し、自転車の安全教育や乗車マナーの向上、自転車を通じての国民体育の向上を図る。

**期間** 平成22年5月4日（火・祝）～5月5日（水・祝）9:30～16:50

**会場** 科学技術館（東京都千代田区）1階 2号・3号催物場（入場無料）

**主催** 自転車月間推進協議会／朝日新聞社

**後援** 内閣府／警察庁／総務省／文部科学省／経済産業省／国土交通省／環境省／東京都／財団法人JKA

**内容** 1) 展示スペース

- ①小・中学生絵画作文コンクール入賞作品展示コーナー ②自転車月間・バイコロジーPRコーナー ③交通安全PRコーナー
- ④ツアー・オブ・ジャパン紹介コーナー ⑤自転車市民権宣言PRコーナー ⑥アトラクション／スピードチャレンジ
- ⑦自転車発電玩具 SL ⑧針金自転車教室 ⑨バーチャルロード ⑩バルーンアート ⑪自転車クリニック

2) ステージイベント

- ①小・中学生絵画・作文コンクール入賞者表彰式：5月5日（水・祝）13:00～13:30
- ②ピーポくんの交通安全教室：5月4日（火・祝）11:00～11:30、14:00～14:30
- ③自転車クイズ大会：5月4日（火・祝）12:00～12:30、15:00～15:30  
5月5日（水・祝）10:00～10:30、12:00～12:30
- ④それいけ! アンバンマン ショー&握手会：5月5日（水・祝）14:00～14:30、16:00～16:30
- ⑤お笑いライブ オジンオズボーン／クライザー三世：5月4日（火・祝）13:00～13:30、16:00～16:30
- ⑥BMXパフォーマンス：5月5日（水・祝）11:00～11:30、15:00～15:30

3) クイズラリー実施 会場の展示を見て解答する自転車にまつわるクイズラリーを実施

4) 屋外イベント ①変わり種自転車試乗会 ②シャボン玉製造機

### 〔 会場風景 〕



#### ●インフォメーションコーナー

各イベントの説明や、自転車市民権宣言の署名及びクイズラリー用紙の回収を行いました。



#### ●入口横断幕



## 〔 展示スペース 〕



### ●交通安全PRコーナー

警視庁のご協力のもと、ブースにて交通ルールのチラシ配布を実施しました。



### ●ツアー・オブ・ジャパン紹介コーナー

競技自転車やユニホームを展示するとともに、昨年のTOJ映像を放映いたしました。



### ●自転車月間・バイロジックPRコーナー

自転車に関するルールや様々な情報をパネル展示し、クイズラリーの問題にすることで多くの方にご覧いただきました。



### ●自転車市民権宣言PRコーナー

自転車市民権宣言を紹介し、多くの来場者に署名していただきました。

## 〔 ステージイベント 〕



### ●ピーポくんの交通安全教室

警視庁の協力を得てステージで交通安全教室を開き、交通ルール等について一緒に勉強しました。



### ●自転車クイズ大会

自転車に関するクイズを出題し、楽しみながら自転車の歴史やルールなど様々なことを学んでいただきました。



### ●自転車マナーUPTーク

ステージイベント前に、自転車に関するルールやマナーの紹介をし、交通ルールを再認識していただきました。



### ●それいけ!アンパンマンショー

お子様に大人気のアンパンマンショーを実施し、子供たちはショーに夢中になり十分に楽しんでいただきました。



### ●BMXパフォーマンス

2人のライダーに多彩な技を披露していただき、会場は大盛況でした。また、ショーに使われる、特殊な自転車の説明をしていただき、自転車競技への興味並びに理解を深めていただきました。



### ●お笑いライブ

人気のお笑い芸人、オジソズボン(クライザー3世)をお招きし、自転車に関するネタを披露していただくなど、会場は大盛り上がりでした。



## 〔屋内イベント〕



### ●自転車発電機関車

自転車をこぐことで発電する遊具で、エコを体感しながら楽しんでいただきました。



### ●クイズラリー

会場の各所に設置されたパネルの中からクイズの答えを探し出し、楽しみながら自転車について学んでいただきました。



### ●スピードチャレンジ

スピード計測を行い、自転車で出せるスピードの限界に挑戦していただきました。



### ●バーチャルロード

自転車と運動して動く映像装置を使い、実際のツールロード・フランスのコースを体験し、楽しみながら自転車競技への興味を深めていただきました。



### ●ピエロのパフォーマンス

人気のバルーンアートで、ステージイベント前に実施し、効果的に集客を行いました。



### ●自転車クリニックコーナー

元競輪選手で、自転車安全整備士の資格を持つ、五味実さんを講師に迎え、自転車整備のレクチャーや、来場者の自転車整備を実施。



### ●針金細工教室

針金細工職人を招き、輪ゴムで走らせることができる自転車の作り方教室を実施。完成した自転車でレースを開催。

## 〔屋外イベント〕



### ●変わり種自転車試乗会

変わった自転車に乗ることで、自転車の楽しさを実感。



### ●シャボン玉製造機

自転車をこいでシャボン玉を発生させる仕組みを理解することで、自転車のできるエコを体験していただきました。

# 自転車月間推進協議会/構成団体 — 団体名一覧 —

(財) 省エネルギーセンター  
(財) ユースワーカー能力開発協会  
(財) 健康・体づくり事業財団  
(財) 国立公園協会  
(財) あしたの日本を創る協会  
(社) 全国交通安全母の会連合会  
(財) 全日本交通安全協会  
(社) 中央青少年団体連絡協議会  
(財) 日本交通安全教育普及協会  
(財) 日本自然保護協会  
日本スポーツ少年団

(社) 日本PTA全国協議会  
(財) 日本ユースホステル協会  
(財) 日本レクリエーション協会  
(財) ボーイスカウト日本連盟  
(社) ガールスカウト日本連盟  
(財) 自転車産業振興協会  
(財) 日本自転車普及協会  
(財) 日本サイクリング協会  
(財) 日本自転車競技連盟  
(財) 日本サイクルスポーツセンター  
(財) 自転車センター

(社) 自転車協会  
日本自転車軽自動車商協同組合連合会  
(財) 日本車両検査協会  
(財) 日本交通管理技術協会  
(財) 自転車駐車場整備センター  
(社) 日本観光協会  
日本レンタサイクル協議会  
バイコロジーをすすめる会連絡協議会  
(財) 日本障害者スポーツ協会  
(全31団体)

自転車月間推進協議会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 事務局 (財) 日本自転車普及協会

<http://www.bikecolgy.bpaj.or.jp>